

令和5年度 香取市立佐原小学校 学校経営構想図

学 校 経 営 目 標

急激に変化する時代（Society5.0・予測困難な時代）をたくましく生きる児童の育成に向け、教職員一人一人の強みとチーム佐原小としての組織力を生かした創意ある教育活動（令和の日本型学校教育）を展開する。

【学校教育目標】 心身ともに健康で、共にみがき合い、共に伸びていく子どもの育成
【めざす児童像】 「かしこい子」、「やさしい子」、「たくましい子」、「はたらく子」、「佐原が大好きな子」
【めざす学校像】 “希望の登校、満足の下校” 佐原笑楽校

学校経営方針

- 1 日々の授業実践をさらに充実させ、学びを通した人格形成に努める。また、共に学び、共に成長できる教職員集団をめざす。
- 2 日常の実践から教育活動の課題を把握し、小さな改善を加えながら、学校教育目標の具現化に努める。
- 3 モラルアップをさらに推進し、保護者や地域から信頼・支持される教職員集団になるよう努める。
- 4 ゆとりをもって教育活動に専念できるよう、教職員個々の意識を高め、会議・事務処理のさらなる効率化を図る。
- 5 母校「佐原小学校」を思い、ふるさと「佐原」を愛する児童の育成をめざして、「佐原学」をPDCAのサイクルで推進する。

教職員の行動指針・心構え

「情熱」・「誇り」・「使命」を胸に、「チーム佐原小」で！

- 1 児童にとって一番身近な大人（社会人）のモデルである。
- 2 自ら・互いに研修に励み、自ら・互いに成長しようとする。
- 3 児童・保護者に寄り添い、そして誠実に向き合う。
- 4 児童の成長に、共に喜びを感じる。
- 5 肯定的な見方、前向きな姿勢で児童、保護者、同僚と接する。
- 6 議論には活発に参加し、結論が出たらノーサイド。その後は、ベクトルを合わせ、共に連携しながら実践する。
- 7 報告・連絡・相談・確認を的確に行い、組織で対応する。
- 8 健康管理と教育活動の質的な向上のため、また、意識改革を図り、勤務時間の適正化に努める。

経 営 の 重 点

1 学力の向上（かしこい子、佐原が大好きな子）

- (1) 学習規律の定着（学力向上強化月間の設定 6月、11月）
ア チャイム厳守 イ 授業の8つの約束 ウ 整理整頓
- (2) 主体的・対話的で深い学びのある授業の推進
ア 自分の考えをもつ時間と場の確保（自己決定の場と時間の保障）
イ 児童同士の学び合い（話し合い、意見発表等）
ウ 思考・表現するための手段・方法の獲得
エ 学習意欲と知的好奇心の伸長 オ 自己肯定感の高揚
- (3) 個に応じた指導の充実
ア 基礎的・基本的な知識・技能の習得（個別指導の推進）
イ 指導と評価の一体化 ウ きめ細かな指導の充実
- (4) 教職員の指導力の向上
ア 本校の実態に即した指導方法や指導計画の改善
イ キャリアステージや役割に応じた指導力の向上
ウ 教職員の同僚性を活用した授業研究（教職員同士の学び合い）
エ 佐原学の推進
- (5) 読書活動・家庭学習の充実
ア 朝の読書の充実と学校図書館の積極的な活用
イ 家庭学習の奨励 ウ NIE事業の活用
エ 読書習慣や家庭学習における家庭への啓発
- (6) 情報活用能力を育むICT教育の推進
ア 1人1台端末の効果的かつ日常的な活用
イ プログラミング教育の充実 ウ デジタル教科書の積極的な活用
- (7) コミュニケーション能力を伸ばす外国語教育の充実
ア 外国語指導講師の活用 イ 外国語活動・外国語科の指導力向上
- (8) キャリア教育の推進
ア 横断的・総合的な指導 イ キャリア・パスポートの活用
ウ 「ゆめ・仕事びったり体験」と佐原学との関連

3 健やかな体づくり（たくましい子）

- (1) 体力の向上
ア 教科体育の一層の充実 イ 日常的な体力づくり
ウ 基本的な動きや技能の定着と思考し、判断する力の育成
- (2) 健康教育の充実
ア 望ましい生活習慣の確立 イ 疾病の治癒と予防
ウ 関係機関等との連携による健康教育の推進
- (3) 実効性のある安全教育
ア 危険を回避する能力の育成 イ 、交通安全指導の徹底
ウ 「自分の命は自分で守る」防災意識の高揚を図る。

2 豊かな心の育成（やさしい子、はたらく子、佐原が大好きな子）

- (1) 道徳教育の充実
ア 主体的に考え、議論する道徳の推進
イ 授業参観や授業公開の実施 ウ 命を大切にする教育の充実
エ 情報モラル教育の推進と啓発
- (2) 自己肯定感を伸ばす生徒指導・教育相談の充実
ア 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成（凡事徹底）
イ 生徒指導の機能を生かした授業づくり ウ 関係機関との連携
エ 組織的な生徒指導・教育相談体制の構築
- (3) 安心して学べる環境を実現するいじめ防止対策等の推進
ア いじめ防止基本方針を基盤とした人権意識と規範意識の高揚
イ いじめの積極的な認知と迅速かつ適切な対応
ウ 保護者への協力・啓発
- (4) 指導者と児童、児童同士とのふれあい
ア お互いのよさやがんばりを認め合える人間関係づくり
イ 思いやりや違いを認め合う気持ちの醸成
- (5) 環境整備の充実
ア 黙働掃除の充実、季節感のある掲示物や環境づくり
イ 佐原学の実践をとおして、ふるさと佐原を愛する心の育成

4 特別支援教育の推進

- (1) 推進体制を支える学校体制づくり
ア 研修の充実を図り指導力の向上 イ 校内支援委員会の充実
- (2) 一人一人の教育的ニーズへの対応
ア 合理的配慮を意識した個別的教育支援・指導計画の活用

5 安全で開かれた学校、地域に根ざした学校づくり

- (1) 積極的な情報発信・情報収集
ア ホームページ、各種通信等の充実 イ 学校評価の工夫・改善
ウ 保護者への行事等への積極的な参加依頼
- (2) 関係機関との連携、地域の人財活用
ア 学校評議員制度の活用 イ 積極的な人財活用（佐原学、生活科等）
- (3) 施設等の適切な管理と事件・事故防止
ア 施設・通学路の安全点検の実施と迅速な対応
イ 防犯ボランティアや子ども110番の家との連携
- (4) 総合的な学校安全計画の策定と学校安全の充実
ア 危機管理マニュアルの見直しと日常的な活用
イ 通学路の安全確認（Sマップの改訂） ウ 日常的な安全点検
エ 日常的なシェイクアウト訓練（年間5回程度）

児童・保護者・地域から信頼される学校

感染拡大防止と学びの保障の両立、不祥事根絶、働き方改革、人財育成などの喫緊の課題に、組織で取り組む。